

～ ヤマケイ通信 ～

- 新年あけましておめでとうございます。
- 旧年中はひとかたならぬご厚情を賜り、誠にありがとうございました。
- 本年も何卒宜しくお願い申し上げます。
- 皆様にとって本年にご多幸がありますようお祈りいたしております。
- ヤマケイ通信 1 月号をお送りさせていただきます。(^_^)



申（さる）年ってどんな年！？

- 2016 年の申年は、十二支の九番目にあたり、方角は西南西になります。
- 申年の「申」は本来「しん」と読み、「申」という字は「雷」の原字であり「稻妻（いなずま）」を表した象形文字になります。
- 稲妻は屈折しながら、あちこちの方向に走ることから、「申」を「のびる」という意味や「もうす」という意味で使うようになりました。
- 申年は「草木が十分に伸びきった時期で、実が成熟し香りと味がそなわり、固く殻におおわれている状態」を表しているとされています。
- 干支の「申」には動物の「猿」が割り当てられることとなり、病や厄が「去る（さる）」と言われ、縁起が良いものとして神社などでも祭られています。
- 十二支の順では、申年（さるどし）・酉年（とりどし）・戌年（いぬどし）という順序なのですが、これは酉（とり）にあてはまるニワトリが、犬猿の仲と言われるサルとイヌの仲裁をしていたためにこの順になったという面白い話もあります。



申年に贈ると病が治る・・幸せを呼ぶ「赤い下着」

- 申年の今年は、十二年に一度の幸せを呼ぶ「赤い下着」が登場します。
- 元々はチベット仏教から来た話のようですが、「申年の申の日に赤い下着を贈ると病が治る」「申年の申の日に贈られた赤い下着を身に着けると元気になる」などの言い伝えが日本各地に伝わっています。
- また、「申（さる）」は「去る」を意味し、「悪いことが去る」「病が去る」という説があります。
- 各地域により多少意味は異なりますが、申年の「赤い下着」は幸せを運んでくれるものとして、今でも全国各地で伝えられています。
- 申年は十二年に一度しか巡ってきません。ぜひ「赤い下着」を大切な人に、理由も合わせてプレゼントしてみてくださいはいかがですか♪

- ご購読ありがとうございました。
- 今後とも、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



有限会社 山本圭商店



各種包装機用超硬カッター、セラミック加工、テフロン加工、各種表面処理加工、包装資材全般販売
〒537-0012 大阪市東成区大今里 3-11-24 TEL:06-6971-1347 FAX:06-6971-2201 www.tyoukou.jp